

# 令和5年度事業計画書

令和5年3月1日

公益財団法人 名勝依水園・寧楽美術館

## 令和5年度（令和5年4月1日～令和6年3月31日）事業計画の概要

令和4年度は、令和2年度、令和3年度に引き続き新型コロナウイルスが終息、拡散の繰り返しとなり、国外からの観光客は、後半制限緩和により徐々に増えつつあったが、コロナ前に比べほど遠い状況であった。国内からの観光客については、学生の修学旅行復活、行動規制の緩和等により、各月昨年を上回る入園者数となった。令和2年度は、全国的な新型コロナウイルスの蔓延により、4月・5月に一時閉園・閉館を行った。令和3年度については、5月19日より11月の紅葉の時期、「依水園のひなまつり」を除いて、火曜日の定休日のほか、水曜日を臨時休園日とした。令和4年度は、令和3年度より事業環境は良い方向に向かうと思われたが、現状をみると予断を許さない状況が続いている。令和5年度は、令和4年度同様基本的には、庭園、美術館のハード面、人的なソフト面の質を落とすことなく、昨年度事業において中止した文化講演会等を復活しつつ事業を遂行し、新型コロナウイルスの終息時に繋げていきたい。

### 1. 庭園事業について

庭園事業では、文化庁他の補助金による整備事業の完了後、自らの費用と補助金により、維持しながらの公開が6年を経過した。増加を続けていた海外からの入園客は、平成31年度をピークに新型コロナウイルスの影響により、令和2年度、令和3年度はほぼゼロとなったが、令和4年度は入国規制緩和に合わせて徐々に増加した。また、依然旅行サイトの観光施設の評価では、外国人を含め高い評価を継続している。令和5年度以降もこの評価を維持するため、令和4年度に引き続き庭園、建家の保安全管理の維持向上を図り、9月下旬および12月末から1月中旬に庭園整備のための休園期間を設ける。また、令和4年度より実施している文化庁他の補助金による防災施設の整備事業を、令和5年度も継続して行う。なお、平成27年度より開始した庭園整備特別準備金の積立については、収支状況から令和4年度同様難しい面はあるが、令和5年度以降も継続していく予定である。

#### (1) 補助金事業

令和5年度は、令和4年度に引き続き三秀亭をはじめとした、園内各建物への自動火災報知設備の新設、消火設備の既存設備の改修と寄付、水車小屋、稲荷社への消火栓新設の補助金事業申請を行い認められれば、これを実施する。

事業費 27,600千円

内訳（予定） 13,800千円が文化庁補助額、4,140千円が県補助額、3,036千円が市補助額、6,624千円が当財団負担額）

（参考）

- ①令和2年度は、柳生堂の屋根葺き替え、蔵の修理の補助金事業を実施した。
- ②令和3年度は、令和2年度に引き続き柳生堂の屋根葺き替え事業を実施した。

③令和4年度は、屋外建物の自動火災報知設備新設、消火設備の既存設備の改修、消火栓の新設の補助金事業を実施した。

(2) 庭園整備期間

令和5年9月19日(火)～26日(火)、年末年始

庭園・美術館休園休館

2. 美術館事業について

(1) 展覧会

【前期展】

(企画室/常設室)

テーマ：「<sup>つど</sup>集いの美」

概要：複数名による<sup>がっさく</sup>合作や<sup>しゅう</sup>師友を<sup>しの</sup>偲んだ作品など、人と人との交流によって生み出された美術作品を紹介する。

会期：4月7日(金)～7月24日(月)

94日間

(注) 火曜日定休日

展示内容：(企画室/常設室)

<sup>てんぼつしんしんひじょう</sup>天発神識碑帖、<sup>ひやくげつじょう</sup>印章、<sup>はくがだんきんきょう</sup>百月帖、<sup>きゅうさい</sup>伯牙弹琴鏡、<sup>だいふくちょう</sup>北村久齋の大福帳 ほか

《展示数 約40点》

◆特別陳列 重要文化財 田能村竹田 亦復一楽帖 第五回「<sup>しゅうぼんじゅうろう</sup>秋晩樹老」

展示期間 4月7日(金)～22日(土)

【後期展】

(企画室)

テーマ：「<sup>じっけん</sup>やきもの用語実見展」(仮称)

概要：日本にはやきものを愛するがゆえに生み出された多くのやきもの用語が存在する。これらを実際の事例と照らし合わせ紹介する。

景色・虫食い・口紅・<sup>きょうげんぼかま</sup>狂言袴・<sup>やがく</sup>夜学・<sup>げて</sup>下手もの…??

会期：8月11日(金・祝)～12月24日(日)

111日間

(注1) 火曜日定休日

(注2) 9月19日(火)～26日(火)は、庭園整備期間として閉園・閉館。

(注3) 美術館は、令和5年1月～3月末迄、庭園整備及び下記イベント等開催のため閉館とし、その間学芸部は美術品の資料整理及び次回展示の準備と研究期間とする。

展示内容：(企画室) 未定

(常設室) 未定 (テーマを設けず収蔵品中の優品を紹介する。)

◆特別陳列 重要文化財 田能村竹田 亦復一楽帖 第六図「風雨夕掩門」<sup>ふううゆうえんもん</sup>

展示期間 11月1日(水)～16日(木)

(2) 美術品の修復

開館55周年(2025年)記念展に向けて所蔵美術品の修復事業積立を実施中であるが、新型コロナウイルスの影響、財団の運営状況や修復の緊急性を鑑み、開館60周年(2030年)を目標に計画を変更、令和4年度に(公財)住友財団 文化財維持・修復事業助成金申請の結果を踏まえ、今年度も申請の準備に備える。

(3) 美術品の貸出

今年度貸出予定はない。

(4) 美術品の借用

①依水園<sup>がっさくしよがふく</sup>合作書画幅(個人蔵) 前期展出品のため

②北村<sup>きゆうさい</sup>久 斎関係資料(個人蔵) 前期展出品のため(調査預かり中の作品・展示許可入手)

③青花魚介文鮑<sup>せい か ぎよかいもんあわびがたはち こそめつけ</sup>形鉢(古染付) (個人蔵) 後期展出品のため

(5) 所蔵品の写真撮影

所蔵品の中で、公に使用できる写真データが少ないので、今後、貸出及び「出版物等」掲載のため、定期的に写真撮影を実施し、所蔵品写真データの蓄積を計りたい。

(6) その他

① 寄贈作品の評価額設定調査

詳細は未定

② 閲覧希望対応

現在のところ予定なし。

3. 催しについて

(1) 第22回依水園文化講演会

庭園の特徴や歴史・建造物や所蔵する文化財について、より深く知り親しんでいただく催しとして実施(新型コロナウイルス前は、年2回実施)。

日 時：令和5年4月16日(日) 13:30～15:00

場 所：名勝依水園 藤の間

演 題：「『亦復一楽帖』に魅せられて 一文人、田能村竹田の世界」

講 師：中谷美風氏<sup>なかたにびふう</sup>(煎茶美風流家元)

定 員：35名

参加費：2,500円 (入園料込)

(2) 依水園開園記念日

時 期：令和5年6月1日(木)

入園料金：一般 500円、高・大学生 300円、小・中学生 無料

平成27年度より開始した、6月1日の開園記念日を割引料金とする企画を今年度も継続して実施する。この日の恒例となっている当財団敷地内三秀亭での煎茶美風流家元中谷美風氏による、入園客に煎茶道を体験して頂くイベントについて、令和2年度～令和4年度は中止したが、令和5年度は開催する予定である。

① 開園記念イベント

内 容：「文人趣味の煎茶席」（煎茶美風流のみなさんによる呈茶席）

場 所：三秀亭

煎茶券：1,000円（入園には別途入園料金必要）

時 間：10時、11時、12時、13時、14時、15時（計6席）

定 員：各席20名

(3) お茶室見学会

時 期：令和6年2月初旬

参加費：未定

平成25年より例年2月に奈良市主催で開催されている珠光茶会にあわせて、園内の茶室を公開する「依水園お茶室見学会」を開催している。通常公開していない建物内部を見学できる機会として好評を得ているので、継続実施する。

(4) 依水園のひなまつり

時 期：令和6年2月初旬～3月上旬予定

場 所：立礼の間・藤の間

内 容：詳細は未定

平成31年2月より開催している、当財団への寄贈作品である曲水の宴の平飾りのひな人形等を展示する「依水園のひなまつり」を引き続き開催する。

(5) 奈良工芸の粋

詳細は未定

平成29年度より毎年3月に奈良新聞社が主催する、「奈良工芸の粋」展の会場として当園の美術館、主屋、茶室等を貸出し、奈良漆器、赤膚焼、一刀彫等の奈良の工芸品の展示、販売、茶席開設に協力している。令和5年度も奈良工芸の発展を支援するため継続協力する。

(6) 庭園大研究会

月1回、庭師の人材育成のために開講している「庭園大研究会」を継続して開催する。

4. その他

(1) 職員による庭園案内は、新型コロナウイルスの影響、状況をみながらの実施とする。

(2) 令和2年末より開始したTwitter、Facebookは、タイムリーな情報を継続発信する。

以 上